

4つのCSR取り組みテーマ

長谷工グループのCSRの目指す姿である「4つのCSR取り組みテーマ」の実現に向けた取り組みを推進しています。

4つのCSR取り組みテーマ	18の重点サブテーマ	関連するSDGs	ESG
住んでいたい 空間	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心・快適 多様なライフスタイル コミュニティ 暮らしの環境配慮 		E/S
働いていたい 場所	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人々の活躍 労働環境・安全衛生 人材育成・技術継承 サプライチェーン 		S
大切にしたい 風景	<ul style="list-style-type: none"> 資源循環 エネルギー・CO₂ 汚染予防・周辺環境配慮 サプライチェーン 		E
信頼される 組織風土	<ul style="list-style-type: none"> 企業倫理・法令遵守 人権尊重 情報開示・対話の強化 CSR教育・啓発 社会貢献活動推進 グループ総合力強化 		G



事業と関連性の深い社会課題とSDGs

SDGs(国連の持続可能な開発目標)の17目標のうち、長谷工グループの事業と関わりの深い10目標を特定しています。長谷工グループの事業は世界の社会・環境課題と密接な関わりがあることを認識し、事業を通じた課題解決によって、社会価値の創造と長谷工グループの成長を両立させていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



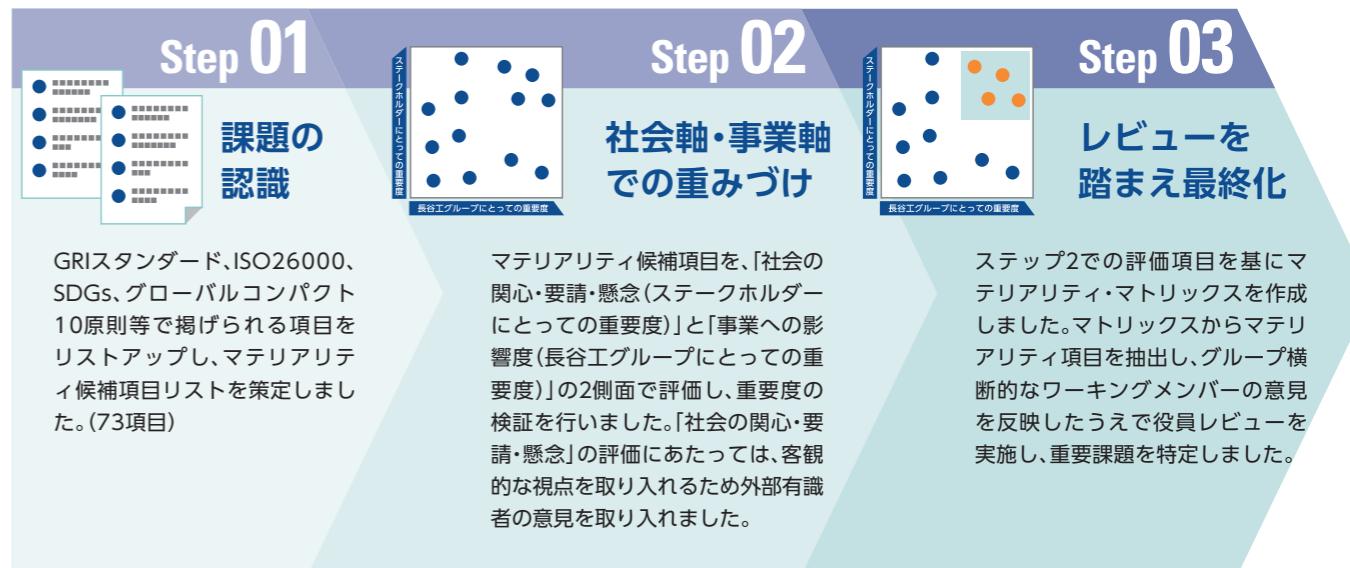
暮らしを取り巻く社会課題領域

気候変動対応 生態系保全 安全・安心
防災・災害対応 地域活性化
人口動態変化・高齢化社会への対応
ダイバーシティ推進 女性活躍
健康・医療・介護 職業教育・雇用機会創出
保育・子育て 持続可能な消費 資源循環

マテリアリティ

気候変動やエネルギー問題、少子高齢化、貧困・人権問題など多くの環境・社会課題が山積しており、企業が課題解決に果たす責任は大きくなっています。長谷工グループでは、2017年に優先的に取り組むべき課題をマテリアリティとして特定し、CSRを推進する上での指針としています。マテリアリティの内容については、2020年2月に中期経営計画「HASEKO Next Stage Plan」がスタートしたことを機に見直しを行いました。見直しにあたっては、中期経営計画、社会情勢、外部有識者の意見などを踏まえて事業軸・社会軸の視点で検討し、役員レビューにより2021年3月に決定、同年4月より運用しています。今後も、経営方針・社会情勢との整合性の観点から適宜見直しを行っていきます。

マテリアリティの特定プロセス



長谷工グループのマテリアリティ

特定したマテリアリティは、4つのCSR取り組みテーマの要素としてすべて盛り込んでいます。

■住んでいたい空間 ■働いていたい場所 ■大切にしたい風景 ■信頼される組織風土

